

明治八年三月廿日頃の事
 大阪 錦馬新聞 第十七号

明治八年三月廿日頃の事
 大阪 錦馬新聞 第十七号
 新大工町の建蔵とあるのは、
 子地金賣買と渡世をせよと
 金貨の極貧窮の世が、元久留
 米藩某の娘お鶴とあり、いづれ、男の助成や女房の勤勢にて、我もまた、働き
 出りし追々と、櫻島の子を、ぬくろの尻を、さす、自由の建蔵の、意
 婦と云ひ逢ひ、深くろの身の、さす、たほと、妻と、舞舞、歸と、跡、西の、や
 美顔新婦と、し、和と、居と、ま、鶴と、さ、さ、ける人沙汰の、飛ひ、ま、り、
 子、来り、様子を、見ま、聞く、如く、い、ね、ほ、夜の、帰、ま、り、お、き、
 阿片煙草と十分は、吞ん、死せ、翌日、も、病、婦、前、に、狂ひ、死、お、鶴、
 似、こ、聲、で、う、と、罵、る、有、様、さ、も、た、ろ、き、こ、の、噂、元、久、留、死、去、り、
 有、ま、く、苦、い、け、れ、も、い、道、な、い、事、せ、し、
 我、と、愛、る、神、經、病、と、い、ふ、不、人、情、を、實、に、
 浪花雷工
 笹木芳庵述



建蔵

石和坂
 彫九市

